

令和6年度 小山小学校の児童の学力の状況等について

1 全国学力・学習状況調査の結果（6年）

実施日 令和6年4月18日

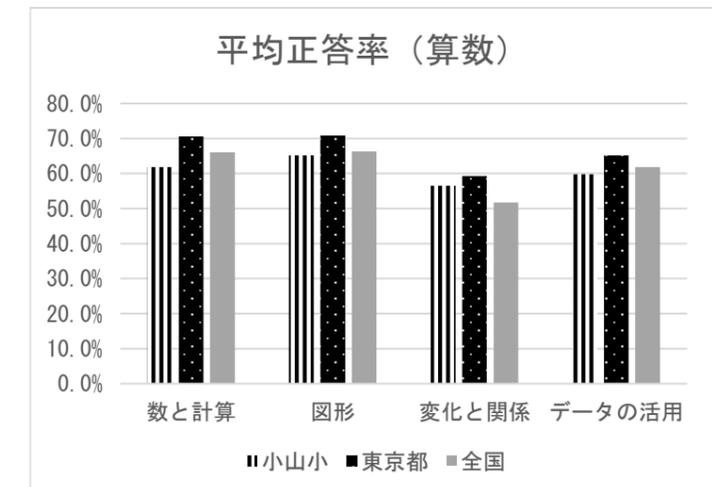
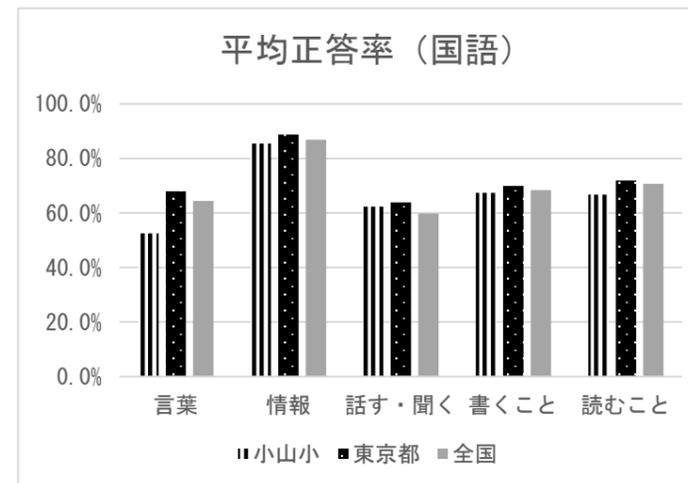
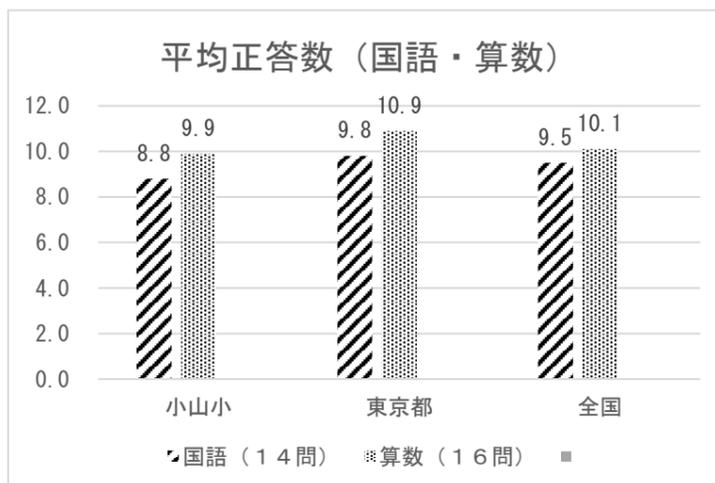
実施人数 69名

(1) 教科に関する調査

教科	平均正答数		
	小山小	東京都	全国
国語（14問）	8.8問	9.8問	9.5問
算数（16問）	9.9問	10.9問	10.1問

平均正答率（国語）	小山小	東京都	全国
言葉の特徴や使い方	52.2%	67.9%	64.4%
情報の扱い方	85.5%	88.8%	86.9%
話すこと・聞くこと	62.3%	63.9%	59.8%
書くこと	67.4%	69.9%	68.4%
読むこと	66.7%	71.9%	70.7%

平均正答率（算数）	小山小	東京都	全国
数と計算	61.8%	70.6%	66.0%
図形	65.2%	70.8%	66.3%
変化と関係	56.5%	59.3%	51.7%
データの活用	59.8%	65.2%	61.8%



(2) 学習や生活に関する意識や生活習慣などの調査（抜粋）

肯定的な意見（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）の割合

	小山小	東京都	全国
1 自分には、よいところがあると思いますか。	88.6%	84.5%	84.3%
2 将来の夢や目標をもっていますか。	85.7%	80.7%	82.4%
3 人が困っているときは、すすんで助けていますか。	95.7%	91.6%	92.7%
4 学級の友達との間で話し合うことを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	87.1%	85.7%	86.3%
5 自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	87.1%	80.7%	80.7%
6 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間勉強していますか。（1時間以上）	45.8%	62.2%	54.6%

【分析・課題・今後の方向性】

- 国語は、全国の平均正答数をやや下回っている。「言葉の特徴と使い方」について、漢字を文の中で正しく使う力や話し言葉と書き言葉の違いに気付く力、主語と述語の関係を捉える力には特に課題が見られる。既習の漢字を使用したり、文法を意識したりする場面を増やし、漢字や言語事項を確実に習得させていく必要がある。
- 算数も、全国の平均正答数をやや下回っている。「数と計算」の数量関係を捉え式に表す力や計算のきまりを活用して計算する力に課題が見られる。また、小数のわり算の技能にも課題が見られるので、図を書いて問題場면을把握する活動や既習の計算問題の反復練習等を通して、理解できるようにしていきたい。
- 自分のよさに自信をもつことができる児童が多い。自分のよさを生かして友達を助けたり、将来の夢に繋がったりすることができている。自己肯定感をさらに高め、今後も様々なことに興味をもち、積極的にかかわる姿勢を大切にしていきたい。
- 自分で学び方を考え、工夫する力が伸びている。ただ、学習時間（量）には課題が見られる。与えられた課題だけでなく、自分にとって必要な学習や興味関心のある学習を考え、進める力をさらに育てていきたい。

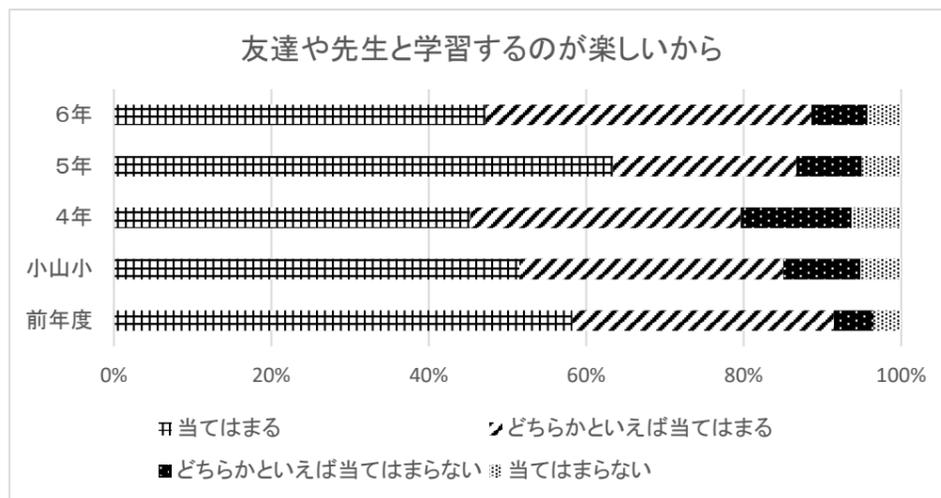
2 学びに向かう力等に関する意識調査の結果（4・5・6年）

実施日 令和6年6月 実施人数 194名（4年64名 5年生60名、6年生70名）

(1) 学習の動機や進め方

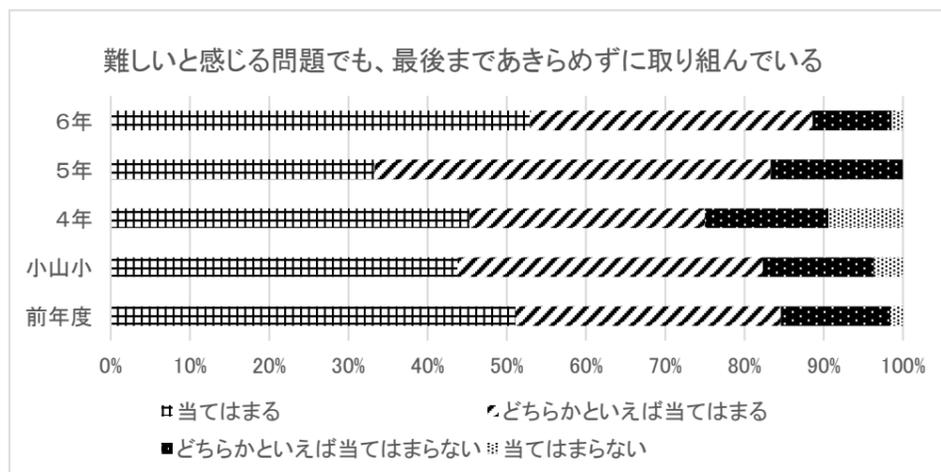
① 友達や先生と学習するのが楽しいから

	前年度	小山小	4年	5年	6年
当てはまる	61.2%	51.5%	45.3%	63.4%	47.2%
どちらかといえば当てはまる	29.8%	33.5%	34.4%	23.3%	41.4%
どちらかといえば当てはまらない	5.0%	9.8%	14.1%	8.3%	7.1%
当てはまらない	3.7%	5.2%	6.3%	5.0%	4.3%



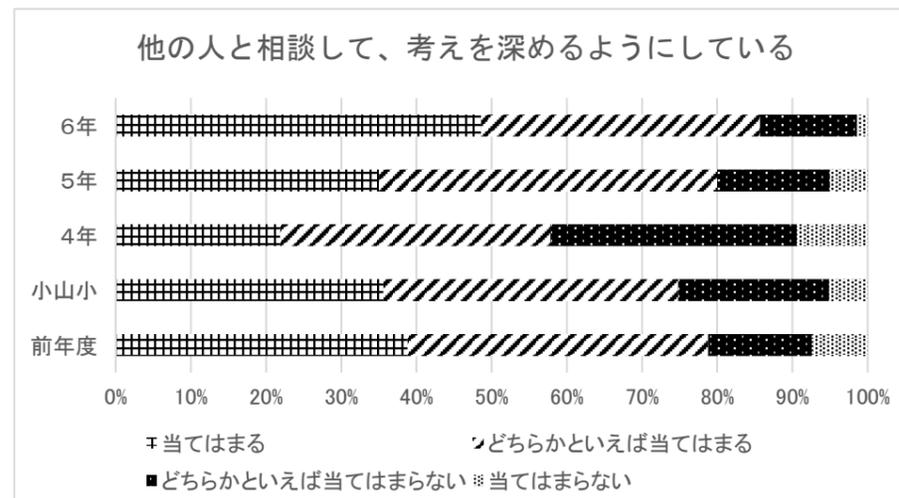
② 難しいと感じる問題でも最後まであきらめずに取り組んでいる

	前年度	小山小	4年	5年	6年
当てはまる	51.1%	43.3%	45.3%	33.3%	52.9%
どちらかといえば当てはまる	33.5%	38.1%	29.7%	50.0%	35.7%
どちらかといえば当てはまらない	13.8%	13.9%	15.6%	16.7%	10.0%
当てはまらない	1.6%	3.6%	9.4%	0%	1.4%



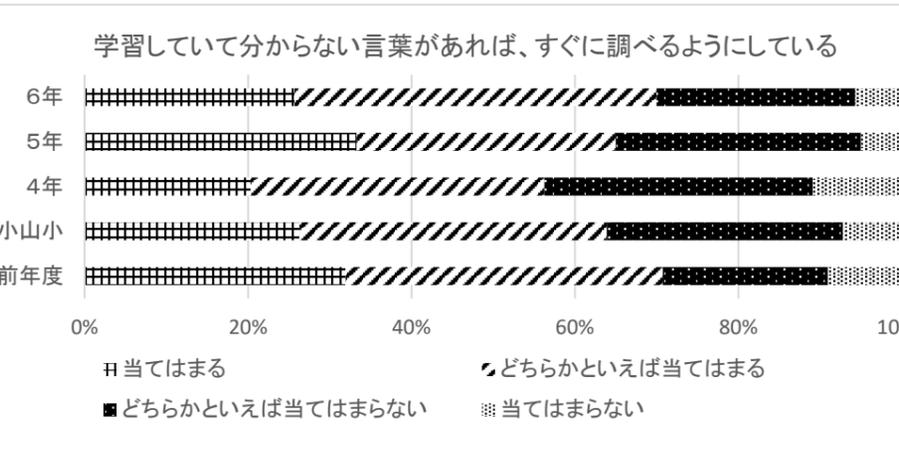
③ 他の人と相談して、考えを深めるようにしている

	前年度	小山小	4年	5年	6年
当てはまる	38.6%	35.6%	21.9%	35.0%	48.6%
どちらかといえば当てはまる	39.9%	39.2%	35.9%	45.0%	37.1%
どちらかといえば当てはまらない	13.8%	20.1%	32.8%	15.0%	12.9%
当てはまらない	7.4%	5.1%	9.4%	5.0%	1.4%



④ 学習をしていて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている

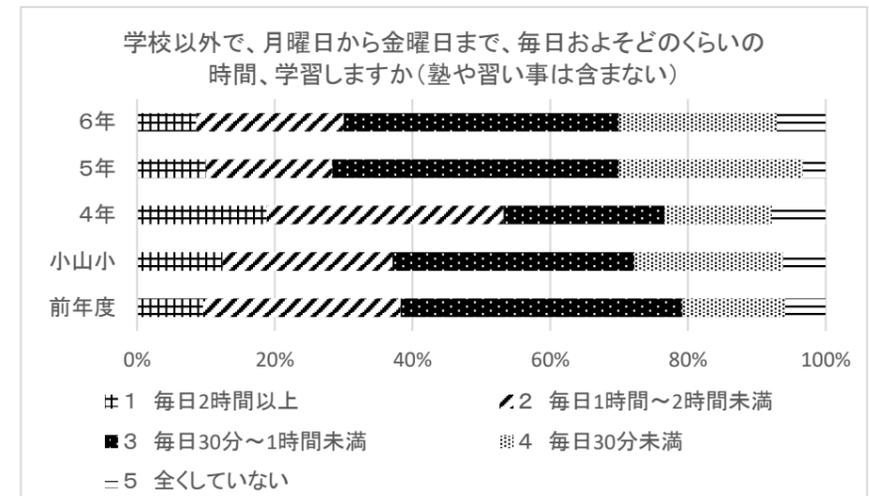
	前年度	小山小	4年	5年	6年
当てはまる	31.9%	26.3%	20.3%	33.3%	25.7%
どちらかといえば当てはまる	38.8%	37.6%	36.0%	31.7%	44.3%
どちらかといえば当てはまらない	20.2%	28.9%	32.8%	30.0%	24.3%
当てはまらない	9.0%	7.2%	10.9%	5.0%	5.7%



(2) 学習習慣（太線より上が10分×学年の基準ライン）

① 学校以外で毎日どのくらいの時間学習しますか

	前年度	小山小	4年	5年	6年
1 毎日2時間以上	9.6%	12.4%	18.8%	10.0%	8.6%
2 毎日1時間～2時間未満	28.7%	24.7%	34.4%	18.3%	21.4%
3 毎日30分～1時間未満	41.0%	35.1%	23.4%	41.7%	40.0%
4 毎日30分未満	14.9%	21.6%	15.6%	26.7%	22.9%
5 全くしていない	5.9%	6.2%	7.8%	3.3%	7.1%



【分析・今後の方向性】

○「友達や先生と学習することが楽しいから」に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答が多い。また、「分かることやできることが楽しいから」「しっかりと考えられるようになりたいから」も同様に多かった。「難しいと感じる問題でも諦めずに取り組んでいる」に対する肯定的な回答は、昨年度より割合が低い。みんなで学習することで、苦手なことにも挑戦し、粘り強く学習を進める力をさらに育てていきたい。

○「他の人と相談して、考えを深めるようにしている」に対する肯定的な回答は、学年を追うごとに伸びている。友達との交流により、新しい考え方を知り、自分の考えをよりよいものにするという、主体的・対話的で深い学びは、積み重ねで深まっていることが見られるので、今後も大切にしていきたい。

○「学習中分からない言葉をすぐに調べるようにしている」に対する肯定的な回答は前年度を下回る。今後も、図書やタブレット端末の活用を充実させ、調べる楽しさや必要性を味わえるようにする。また、分からないことに対し、質問して解決する傾向が見られるので、他の人と学び合うことも大切だが、自分で調べる習慣も大切にしていきたい。

○家庭学習の時間は個人差が大きい。（10分間×学年）の時間は、与えられた課題だけでなく、すすんで家庭学習を行うような習慣を身に付けさせたい。